

PB820プロパック

スピードライト用バッテリーパックII



この度は、GODOX PB820プロパック をご購入頂き、誠にありがとうございます。

- GODOX PB820プロパックはプロフェッショナル用電源供給製品として、キャノン、ニコン、ソニー、GODOX等のスピードライトを高速で充電させることができるように設計されています。(外部入力端子経由)また、GODOX ANGEL128等のLED定常光ライトにも電源を供給することができます。
- GODOX PB820プロパックは、キャノン580EX2やニコンSB900、ソニーF58AM等のスピードライトのフルパワーを約1秒間で充電させることができます。また、フルパワーで250回から300回充電させることができます。この性能は、貴方の撮影の効率を飛躍的に向上させ、仕事に掛かる時間を短縮させることができます。(発光回数は、使用条件により異なります。)
- CPU制御回路と熱耐性ナイロンハウジングを採用しているため、GODOX PB820プロパックは、ソフトウェアの保護とハードウェアの保護を統合し、安全性と信頼性の面で優れた性能を提供します。
- PB820用チャージャーとバッテリー接続ケーブルは、クアンタム製品と互換性があります。

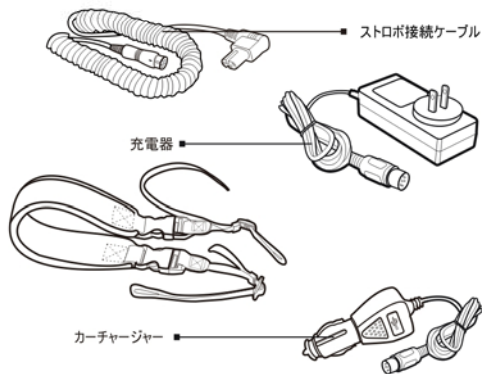
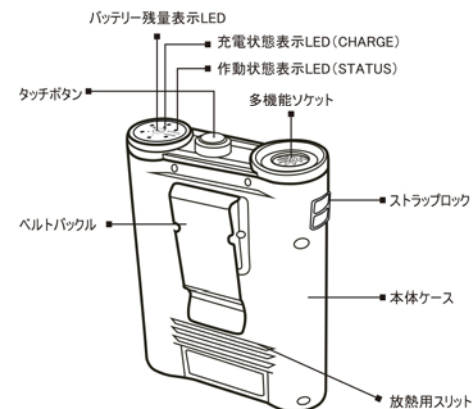
警告

- △ 製品内部には高電圧のコンポーネントが含まれています。電気ショックを引き起こす可能性がありますので、お客様自身で決して分解やメンテナンスを行わないで下さい。
- △ 子供の手の届かないところに保管して下さい。
- △ プラグとソケットの金属部分に手を触れないでください。
- △ (可燃性ガスや液体化学薬品を含む環境など)の引火性のある条件下で、この製品を使用しないでください、火災の原因となる恐れがあります。
- △ すべてのプラグとソケットが確実にしっかりと接続されていることを確認して下さい。

注意

- △ この製品は、防水加工されていません。雨や雪、湿気が多い場所では使用しないで下さい。
- △ 気温が40℃以上の場所では、この製品の使用、保管を行わないで下さい。
- △ この製品は、一般的なスピードライト用の内蔵バッテリーよりもはるかに高い出力を持っているので、高出力で連続して使用した場合には、破損する可能性があります。ストロボのオーバーヒートを防ぐために、フルパワーで20回以上発光させた場合には、10分以上待って下さい。
- △ プラグを抜き差しする場合には、電源オフの状態で行って下さい。

I.各部の名称



II.操作方法

(i) 起動



- ▲ 貴方のスピードライト用のストロボ接続ケーブルを選択して下さい。

- ▲ ストロボ接続ケーブルの入力プラグをPB820本体の多機能ソケットに接続して下さい。



- ▲ ストロボ接続ケーブルの出力端子をスピードライトの入力端子に接続して下さい。



- ▲ タッチボタンを押すと、バッテリー残量表示LEDと作動状態表示LEDが点灯して、パワーパックの作動準備ができたことを表示します。



! この製品がストロボ用に使用されている場合には、フラッシュ内部の電池はフラッシュの操作を行うための電力としてのみ使用されます。

(ii) 電源Off

- ▲ タッチボタンを押すことにより、パワーパックの電源を切ることができます。
- ▲ PB820本体からバッテリー接続ケーブルを抜くことにより、電源を切ることができます。

III.バッテリーの充電方法

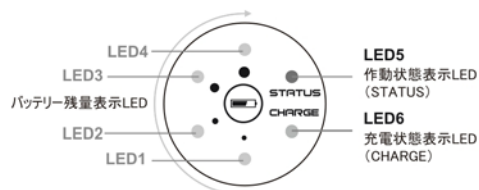
- ▲ 充電器のACプラグを100V~240Vのコンセントに差し込みます。もしくはカーチャージャーのプラグを車のシガーライターソケットに接続して下さい。そして、その反対側のプラグをPB820本体の多機能ソケットに接続して下さい。充電状態表示LEDが点灯して、バッテリー残量表示LEDが点滅を始めて、バッテリーが充電を開始したことを知らせてくれます。
- ▲ 充電中には、LED1、LED2、LED3、LED4が点滅を続けます。充電が完了するとLEDは点灯状態になります。
- ▲ この製品は、多機能ソケットを出力と充電の双方で利用します。

IV.パワーパックの各モードの説明

- ▲ **パワーOffモード**
全てのLEDが消灯。多機能ソケットには電圧が掛かっていない状態。パワーパックのエネルギー消費が極めて少ない状態で、バッテリーのロスは無視しても良いレベルです。
- ▲ **テストモード**
バッテリー接続ケーブルが多機能ソケットに接続されていない時にタッチボタンを押すと、テストモードに入ります。この時にはバッテリーの残量のみを表示します。タッチボタンをもう一度押すか、3秒以上待つと、パワーOffモードになります。
- ▲ **ワーキングモード**
バッテリー接続ケーブルを多機能ソケットに接続した状態でタッチボタンを押すとワーキングモードに入ります。この時には、バッテリー残量表示LEDと作動状態表示LEDが点灯します。タッチボタンをもう一度押すか、バッテリー接続ケーブルを多機能ソケットから抜くことによりパワーOffモードに入ります。もしくは、12時間以上使用しない状態が続くと自動的にパワーOffモードに入ります。
- ▲ **チャージモード**
充電器からの入力端子を多機能ソケットに接続して、充電器をコンセントに差し込むと、チャージモードに入ります。この時にはチャージ状態表示LEDが点灯して、バッテリー残量表示LEDが点滅を開始します。全てのバッテリー残量表示LEDが点滅を停止して、点灯するとバッテリーは完全に充電されています。

V. LEDインジケター

1.バッテリー残量表示インジケター:LED1, LED2, LED3, LED4



LED	LED1	LED2	LED3	LED4
Battery level				
Weak	Flicker	OFF	OFF	OFF
Low	ON	OFF	OFF	OFF
Middle	ON	ON	OFF	OFF
90%前後	ON	ON	ON	OFF
Full	ON	ON	ON	ON

- ▲ LEDの表示にしたがってPB820の電池を必要に応じて充電して下さい。
- ▲ LED1が点滅し始めた場合には、電気を出力できません。この時には、バッテリーを直ちに充電する必要があります。

2. 作動状態表示LED

- ▲ ストロボ用として使用する場合
ストロボのチャージ中は、このLEDは消灯しています。チャージが完了すると、LEDが点灯します。
- ▲ GODOX ANGEL128のような定格消費電力製品(LEDライト等)に使用する場合には、作動中は、バッテリー残量表示LEDのみが点灯します。LED5とLED6はOFF状態のままです。
- ▲ GODOX ANGEL128のような定格消費電力製品(LEDライト等)に使用する場合には、作動中は、バッテリー残量表示LEDのみが点灯します。LED5とLED6はOFF状態のままです。

3. 充電状態表示LEDインジケター:LED6

- ▲ 充電をしていない場合には、このLED6は消灯しています。
- ▲ 充電中や充電が完了した時には、このLED6は常に点灯しています。
- ▲ 4時間連続して充電した後もバッテリーがフル充電していない場合には、LED6が点滅します。これは、バッテリーの過使用か、バッテリーの不良を示しています。この場合には、内部バッテリーを交換して下さい。(交換に関しては、当社サービスセンター、もしくはGODOX製品取扱店にご依頼下さい。)

VI. 使用可能回数(ストロボの場合)

- ▲ GODOX PB820プロパックは、キャノン580EX2、ニコンSB900、ソニーF58AM等のストロボを、約1秒でチャージさせることができます。そして、フルパワーで約250回から300回発光させることができます。

! ストロボのチャージにPB820プロパックを使用する場合には、ストロボ側にも電池を挿入して下さい。ストロボ内の電池は、ストロボの操作や調整、機能に必要です。

VII. 仕様とサイズ

バッテリーパック	ニッケル水素電池 Ni-MH 9.6V/2000mAh
充電時間	約2時間
フルチャージタイム	約1秒(フルパワー時)
発光可能回数	約250~300回(フルパワー時)
サイズ	150*104*44
質量	502g

VIII. メンテナンス

- ▲ 内蔵バッテリーの交換が必要になった場合には、下記の当社サービスセンターかGODOX製品取扱店に依頼して下さい。バッテリー交換には、GODOX製の特別仕様のバッテリーが必要です。
- ▲ GODOX社認定のサービスセンター以外で分解されたことによる故障や損傷は、保証の対象外となります。
- ▲ この取扱説明書の指示に反する操作が原因で発生した故障や損傷は、保証の対象外です。

注意

- ▲ 長期間使用しない場合には、フル充電してから保管して下さい。
- ▲ バッテリー残量が少ない場合には、早めにフル充電して下さい。残量が少ない状態で放置するとバッテリーの寿命が短くなります。
- ▲ 極端に発熱する場合や、煙等が発生した場合には、直ちに使用を中止して、当社サービスセンターにご相談下さい。
- ▲ このパワーパックは防水仕様ではありません。雨、雪、湿気が多い場所では使用しないで下さい。
- ▲ 長期間使用しない場合には、フル充電してから保管して下さい。
- ▲ 各メーカーのストロボには、故障を防ぐため発熱センサーによる保護機能を備えています。この為、フルパワーで連続して数十回発光させた場合には、チャージを止める場合があります。この場合には、ある程度の時間待つことにより再度通常どおり使用することができます。各メーカーのストロボの保護機能は、各メーカーにより仕様異なりますので、事前にご確認下さい。
- ▲ その他、使用に関してご不明な点がございましたら、下記の弊社宛てにご相談下さい。